

団体運営費補助金調査票（表）

補助金名	なりた環境ネットワーク推進事業補助金
------	--------------------

担当課	環境部 環境計画課	実施主体	なりた環境ネットワーク
科目・事業コード	会計 科目 事業 一般 4 1 6 75 - 01	R06 予算額	4,000 千円
新規・継続の別	継続	R05 予算額	4,500 千円
補助・単独の別	市単	R04 決算額	3,264 千円
補助の種類	団体運営費	R03 決算額	3,035 千円
交付開始年度	平成 20 年度	終了予定年度	令和 8 年度

事業の目的概要	<p>成田の水をきれいにしよう運動及び空港周辺環境美化運動を継承し、市民・事業者・行政が協働して、成田市内の道路や河川等の公共空間における環境整備や環境保全活動（以下「環境美化」という。）を継続して行うことにより、成田市民憲章が提唱する“自然と文化を大切に美しい成田をつくりましょう”の推進に寄与することを目的とする。</p> <p>また、年々高まる環境保全へのニーズに応えるべく、気候変動や生物多様性等についても理解を深める機会を提供し、ネットワーク会員が行う環境美化や環境学習活動等を推進するため、運営費を補助する。</p>	補助対象事業	<p>(1)河川・池沼周辺の環境美化等 (2)空港周辺の環境美化等 (3)環境美化等に係る普及啓発、各種状況提供 (4)その他、環境美化等の目的達成のため必要な事業</p> <p>○環境美化活動 ・印旛沼クリーンハイキング ・空港周辺道路美化活動など</p> <p>○講演会・学習会 ・環境講演会 ・印旛沼見学会 ・自然観察会 ・CO2CO2スマート出前講座</p> <p>○会員による環境美化活動等への支援 ・地域環境啓発事業</p> <p>○広報・啓発・その他事業 ・消費生活展等の行事での啓発活動 ・広報誌の発行 ・緑のカーテン推進運動</p>																					
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・成田市補助金等交付規則 ・なりた環境ネットワーク規約 ・なりた環境ネットワーク推進事業補助金交付要綱 	補助基準等																						
留意事項		補助	<p>一補助基本額—4,500千円</p> <p>※直近の決算額が補助額を下回っていることから、補助基本額4,000千円に減額する。</p>																					
決算内訳	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="3">令和 4 年度決算額 (単位：千円)</th> </tr> <tr> <th>収入額</th> <th>支出額</th> <th>翌年度繰越金</th> </tr> <tr> <td>3,264</td> <td>3,264</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>収入額の内 自主財源</td> <td>市補助金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>3,264</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自主財源比率</td> <td>繰越金/補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td></td> </tr> </table>	令和 4 年度決算額 (単位：千円)			収入額	支出額	翌年度繰越金	3,264	3,264	0	収入額の内 自主財源	市補助金額		0	3,264		自主財源比率	繰越金/補助金		0.0%	0.0%		率額	
令和 4 年度決算額 (単位：千円)																								
収入額	支出額	翌年度繰越金																						
3,264	3,264	0																						
収入額の内 自主財源	市補助金額																							
0	3,264																							
自主財源比率	繰越金/補助金																							
0.0%	0.0%																							

団体運営費補助金調査票（裏）

評価項目	内 容	評 価	評 価 理 由
公益性	基本構想、実施計画、個別計画など市の施策の方向性と合致しているか	はい	市民・行政等が協働で環境保全活動を展開しており、NARITAみらいプラン第2期基本計画内で「持続可能な地球環境にやさしいまちをつくる」に位置付けられている。
	市民の利益に寄与することができるか（「はい」の場合、選択式）	はい	工. その他市民の利益に寄与することができる活動に該当
	市民協働を推進する目的があるか	はい	会の目的そのものに、市民・事業者・行政の協働が謳われている。
	事業を実施できる団体は他にないか	はい	ボランティア団体の結びつきをマネジメントし、環境美化運動等を市域全体に広げていくものであるため。
必要性	事業の目的・視点・内容が、社会経済情勢や市民ニーズに適合しているか	はい	環境保全に対する意識が年々高まっていることから、市民ニーズに合致する。
	市が関与する必要性があるか	はい	ボランティア団体の結びつきをマネジメントし、環境美化運動等を市域全体に広げていくものであるため。
	事業を実施しなかった場合に、大きなマイナスの影響があると認められるか	はい	市民・事業者・行政の協働による環境保全が実現されない可能性がある。
	類似の事業はないか	はい	ボランティア団体の結びつきをマネジメントしているものはない。
適格性 (妥当性)	団体等の活動内容が、補助目的と合致しているか	はい	会の活動の全てが環境保全に係るものである。
	団体を支援するに当たり、補助金の交付が適切な手段であるか	はい	自主財源を持たない団体であるため、補助金の交付がないと活動できない。
	団体の会計処理や補助金の使途は適正であるか	はい	事務局の環境計画課で「公金等取扱マニュアル」に従い、適正に事務処理を行っている。領収書・預金通帳等により使途を確認することが出来る。
	団体の決算における繰越金（剰余金）が補助金の額を超えていないか	はい	令和3年度より繰越金は発生していない。
	対象経費は、規則・要綱等により規定されているか	はい	なりた環境ネットワーク推進事業補助金交付要綱により、補助対象経費を定めている。
有効性 (費用対効果)	補助金を交付することによる効果を明確に示すことができる指標等はあるか	はい	加入団体の総数、各種イベントへの参加者人数 団体数=R4：70団体 R3：69団体 R2：69団体 参加者数（延べ）=R4：950人 R3：772人 R2：362人
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	環境保全という社会情勢や市民ニーズにこたえるものであり、補助金額に見合う効果はがあると認められる。
	事業を継続するうえで、補助は必要不可欠であるか	はい	会員から会費を徴収して運営するべき性質ではないことから、自主財源は見込めない。
	補助期間（終期）を設定しているか	はい	令和8年度を終期としている。

最終評価	縮小
評価者 所見	環境整備や環境保全活動を目的とし、行政と市民、加入団体が協働で環境美化等に係る普及啓発等を実施しており、公益性が認められるが、市が団体事務局を兼務していることについては、団体の育成に努め、改善を図ることが望ましい。また、直近の決算額が補助額を下回っており、コロナ禍による事業中止を踏まえても補助額が過大なため、補助額を減額する。